

豊橋の自然や歴史、文化を巡る



赤岩寺 林前びの仏尊 受楽明王



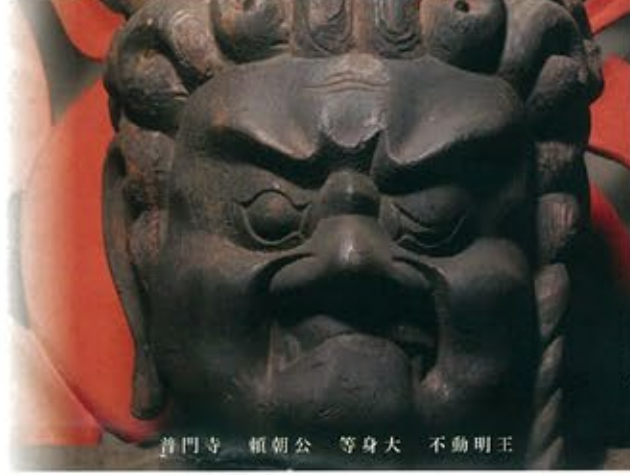
吉田神社 豊橋祇園祭(手筒花火)

御朱印巡り

豊橋



安久美神戸 明社 豊橋鬼まつり



普門寺 頼朝公 等身大 不動明王

赤岩寺



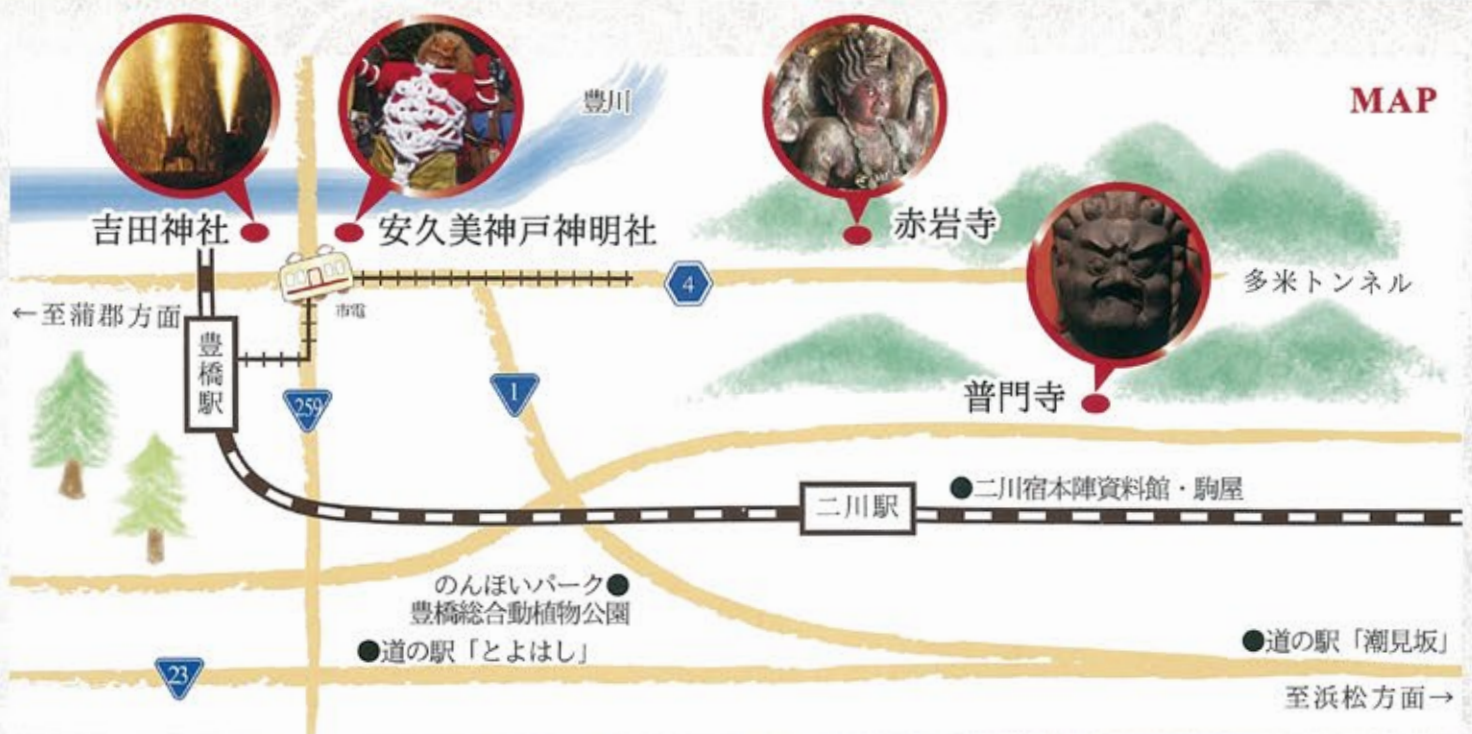
源頼朝公・今川義元公・
徳川家康公から庇護を
受けた豊橋を代表する
寺社仏閣を巡ります。



安久美神戸神明社

普門寺

吉田神社



名古屋方面(音羽蒲郡 IC)からお越しになる方へ

吉田神社 → 安久美神戸神明社 → 赤岩寺 → 普門寺
1.7 km / 5分 5.3 km / 16分 12 km / 29分

静岡方面(三ヶ日 IC)からお越しになる方へ

普門寺 → 赤岩寺 → 安久美神戸神明社 → 吉田神社
12 km / 29分 5.3 km / 16分 1.7 km / 5分

赤岩寺

神亀3年(726)聖武天皇の勅願により行基が開創。赤岩山法言寺と称し、天安元年(857)弘法大師の十大弟子の一人杲隣上人が中興した。鎌倉時代初期には、三河七御堂の一つとして一山十二坊を擁していたが、応仁の乱後衰微し、今川・徳川・戸田家等から庇護を受けた。寺号は、慶長年間寺社奉行が誤って記録したためと伝えられる。国重要文化財の愛染明王坐像をはじめ、平安時代の金剛杵等多くの佛像・佛画・佛具を安置している。

[住所] 豊橋市多米町赤岩山4番地 [電話] 0532-62-0012
[HP] <https://sekigan-ji.or.jp/>
[駐車場] 約20台(大型バスは要予約) [受付時間] 9時~16時
[御朱印] 本尊阿彌陀如来、愛染明王、弁才天、愛宕山大権現等
朱印料 各500円
[祭礼] 愛染明王様の大祭 毎年11月23日



安久美神戸神明社

天慶3年、平将門の乱平定の報賽として朱雀天皇より伊勢神宮に御寄進された神領地に、天照皇大神を奉斎したのが当社の始まりです。永正2年今橋城(吉田城)築城の折、城内鎮護・鬼門守護の神「城内神明宮」として改築奉斎されて以来藩主・城主等の庇護を受け、殊に今川義元公・徳川家康公は篤い尊崇を寄せました。祭礼「豊橋鬼祭」は、平安から鎌倉頃に流行した古い田楽の形を保っていることから、国の重要無形民俗文化財に指定されております。

[住所] 豊橋市八町通3-17 [電話] 0532-52-5257
[HP] <https://onimatsuri.jimdo.com>
[駐車場] 約30台 [受付時間] 9時~16時
[御朱印] 初穂料300円 ※朱印帳1,500円
神面奉製奉讃ご朱印 1,000円
[祭礼] 毎年2月10日・11日

「豊橋鬼祭」で検索



吉田神社

古くより武家からの崇敬を集め、源頼朝は2度家臣を代参させたと伝わります。吉田城築城後は吉田城内天王社と称されました。今川義元 酒井忠次 池田輝政 又、徳川幕府成立後も歴代の吉田城主により社殿の造営や修補がなされ、鳥居や手水盤等、同じく城主の寄付にかかるものも多く残ります。手筒火花発祥の地として知られ、毎年7月第3金曜日から3日間開催される例祭は通称「豊橋祇園祭」と呼ばれます。

[住所] 豊橋市関屋町2番地 [電話] 0532-52-2553
[HP] <http://toyohashi-yoshida.com>
[駐車場] 約30台 [受付時間] 9時~16時
[御朱印] 吉田神社・末社 金柑丸稲荷社など
初穂料300円~
※木製表紙御朱印帳2,000円

「豊橋祇園祭 吉田神社」で検索



普門寺

神亀4年(727)聖武天皇の勅願により行基が開創。源頼朝は当寺を訪れ、自身と等身大の不動明王を彫刻させ戦勝祈願をしました。今川義元・徳川幕府からも厚い庇護を受け、市内最多の文化財を所蔵し、紅葉名所「豊橋のもみじ寺」として親しまれています。季節限定で豊橋名物のブラックサンダーとコラボした「フモンジサンダー」を販売中!

[住所] 豊橋市雲谷町ナベ山下7番地 [電話] 0532-41-4500
[HP] <https://fumonji727.com>
[駐車場] 約70台(大型バスは要予約) [受付時間] 9時~16時
[御朱印] 本尊 聖観音・不動明王・大黒天など
朱印料 各500円~
[祭礼] もみじ祭り 11月最終土日~12月第一土日

「豊橋のもみじ寺 普門寺」で検索

